



ひび割れを抑える生コンを製造するプラント

北陸初のリサイクル製品

福井宇部生コンクリート(福井市上森田)南谷哲彦代表取締役と、グループ会社のユーコン(大野市富嶋)南谷義文代表取締役は、フライアッシュを高炉セメントに添加したものに特殊混和剤を併用することで、ひび割れを抑える生コンクリートを開発、商品化した。

福井県からリサイクル製品として認定を受けている。生コンでのリサイクル製品は北陸初、高炉スラグ微粉末と普

マスコンのひび割れ抑制

廃棄物活用した生コン開発

福井宇部生コンら

通ポルトランドセメントから成る高炉セメントに、北陸電力敦賀火力発電所から排出されるフライアッシュ(石炭灰)を加えると、通常マスコンクリートのひび割れ対策に使用されている3成分系セメントコンクリートと同様の仕組みになる。これに特殊な混和剤を併用することでマスコンクリート特有の水和熱上昇と乾燥収縮を低減させ、ひび割れの大幅な抑制効果を引き出すという。

従来、ひび割れ対策に使われる3成分系セメントコンクリートは、ダムなどの現場プラントで、

そこで使う量のみが製造されていた。今回の製品は自社プラントで製造され、JIS製品としての出荷条件であるフライアッシュ混和材専用サイロと専用軽量器を有しているため、通常工事での使用も可能。すでに民間のマスコンクリート工事へ

の納入実績がある。福井宇部生コンは、この商品を砂防ダムや砂防えん堤、擁壁、ボックスカルバートといったマスコンクリート工事に採用してもらおうと官公庁へ要請していく構え。さらに、北陸電力や大学との共同研究を通じ、ひび割れ発生率を下げる方法を

検討していく。石川裕夏取締役は「マイナスイメージのある廃棄物をプラスに利用することで、生コンそのものの差別化を図り、環境に優しい土木施工に貢献していきたい」と普及へ強い意欲を示している。問い合わせは同社(☎0776-15611234)まで。